

報告

自民党道連団体政策懇談会

常任理事・医療政策部長 笹本 洋一

標記の政策懇談会は、自民党道連が各団体から懸案事項や提言を聞き、次年度の国や道の政策の立案に役立て、各種施策や予算編成等に反映させるため、例年行われているものである。

今年度は、10月7日(月)、17時20分～18時15分に行われた。当会・北海道医師連盟からは、長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、常任理事6名と事務局が、自民党道連からは、会長の伊東衆議院議員、高木衆議院議員、勝沼衆議院議員ほか8名の道議会議員と国会議員秘書5名が出席した。例年の会場では手狭なため、道議会1階の「第二委員会室」で開催された。

冒頭、伊東道連会長と長瀬当会会長より挨拶があった。次いで要望事項に入り、小職から代議員会の決議内容を中心とした総論と国民皆保険制度の堅持、TPP、国民医療を守る議員の会について要望を述べた。伊藤常任理事より緊急臨時的医師派遣事業の継続と電力需要対策について、小職より有床診療所の管理栄養士配置と入院患者の他医療機関受診時

の問題について、目黒常任理事より休日夜間診療確保対策事業の継続と小児救急体制の確保、ドクターヘリの拡充とメディカルウイング研究運航、災害医療対策と原子力防災対策について、後藤常任理事より日本脳炎ワクチンの定期接種化について、北野常任理事より看護職員の養成ならびに運営費補助金の増額と早期交付について、伊藤常任理事より事業税非課税措置の継続と消費税の問題について、各々要望し、懇談を行った。

長瀬会長から、伊東道連会長が地域医療の拡充に向けた医師確保対策を国会質問で取り上げていただいたことにお礼を述べ、さらに、日本脳炎ワクチンの定期接種化について道議会で取り上げていただきたいと要望した。藤原副会長より緊急臨時的医師派遣事業の継続依頼の追加発言をした。

伊東道連会長から、日本の国民皆保険制度は世界に誇れる制度なので医師会とともに守っていききたい、栄養士会は栄養士の就職する場所がなく医師会と正反対の話をしていたのでしっかり話し合いを行いたい、看護師不足に真剣に取り組まなくてはいけないが看護協会は准看護師を認めていないので医療関係者でこの辺の整理が必要である、と述べられた。

医師である勝沼衆議院議員より、現場の声・患者の声をしっかり中央に届けたいと、発言があった。喜多道連副会長より看護師の登録制について、岩本道連副会長より緊急臨時的医師派遣事業の予算不足について、当会に質問があった。中司議員会政審委員長より、各団体からいろいろな項目を道議会で取り上げてほしいと言われているので、医療についても整理したいと発言があり、最後に大谷道連政調会長の挨拶があり閉会となった。



伊東自民党道連会長



長瀬会長



会場の様子